

北の近江振興プロジェクトの取組状況について（令和5年度）

総務・企画・公室常任委員会 資料4
令和5年（2023年）10月6日（金）
新駅問題対策・特定プロジェクト推進室

①住み続けたくなる還りたくなる北部へ

▶ 県が分野・テーマを設定し、地域連携のもと取組を展開

●しがのふるさと応援隊事業

大学生等の若い世代を対象に、「農山村版ワーキングホリデー」を実施。地域活動や課題解決のワークショップ等を通じて、農山村との絆を醸成し、息の長い関係人口の創出を図る。

⇒北部3市の各地域にて、9月に6泊7日の日程で実施。
長浜市（西浅井地区）、高島市（在原地区）、米原市（東草野地区）3地区・計13名参加。今後、SNSによる発信や報告会を開催予定



②挑戦する若者が集う北部へ

●高校魅力化推進プロジェクト事業

①「北の近江振興」高校生サミットの開催

北部地域の県立高校がグループで参加し、北部地域の未来について考え、提案等を発表

②北部地域の未来を牽引するイノベーション人材の育成（虎姫高校）

国際バカロレアの学びの充実、STEAM教育

③北部ならではの学びの創出（伊香高校）

「森で学ぶ」をコンセプトに、新たな学びの研究・開発や地域住民等を対象にシンポジウムを開催

⇒キックオフミーティングを7月に開催。来年2月に開催の「高校生サミット」での発表・提案に向けて、北部地域9校の生徒が課題研究活動に取り組む。



③訪れたくなる北部へ

●プロジェクトコーディネーター配置

国の制度を活用し、各市や県の実施事業に対して専門的な知見から助言や事業推進の支援を行うコーディネーターを配置

⇒コーディネーター3名を配置し、「交流人口（観光）を切り口とした関係人口の創出」をテーマに、北部3市が共通して取り組めるテーマやコンセプト設計等への支援を実施

○北の近江振興プロジェクト推進補助金

▶ 総合プロジェクトとの相乗効果を生み出す市の主体的な取組を県が支援

【長浜市】若者世代のやりたいことの応援と定着をめざすサードプレイス運営事業
【高島市】①JR近江今津駅リニューアル事業 ②北陸新幹線誘客促進事業
【米原市】伊吹山再生プロジェクト（獣害防止、裸地化・表土流出対策）



◎地域における多様な主体（市、事業者、団体、住民等）との連携・協働

▶ 北の近江振興事務所による地域の課題やニーズの掘り起こし、北部3市と県をつないでのプロジェクト検討や円滑な実施、情報発信など

- ・地方の暮らしフェアへの出展 移住促進に向けた北部3市との共同出展（10/7）
- ・北琵琶湖まつりの開催 ここ滋賀との連携による首都圏での発信（10/23～29）
- ・SNS等を活用した地域の魅力発信 「北部振興×移住」ティアアップ動画の作成等

現場訪問

◆知事の「北の近江」現場訪問！

知事が県北部の団体や事業者、住民の方々々が活動する現場を訪問し、意見交換等を行い、得られたヒントや気づきを今後の北部振興の取組につなげる。

- ⇒ 4月 長浜市 「長浜450年を迎える歴史あるまちで3つの“挑戦”」
- 7月 米原市 「伊吹山とともに生きる地域の文化や保全活動に迫る」
- 9月 高島市 「高島で紡がれてきた生活文化と新たに根付く活動に触れる」